

臓器移植法改正案として、A案はC案より優れている

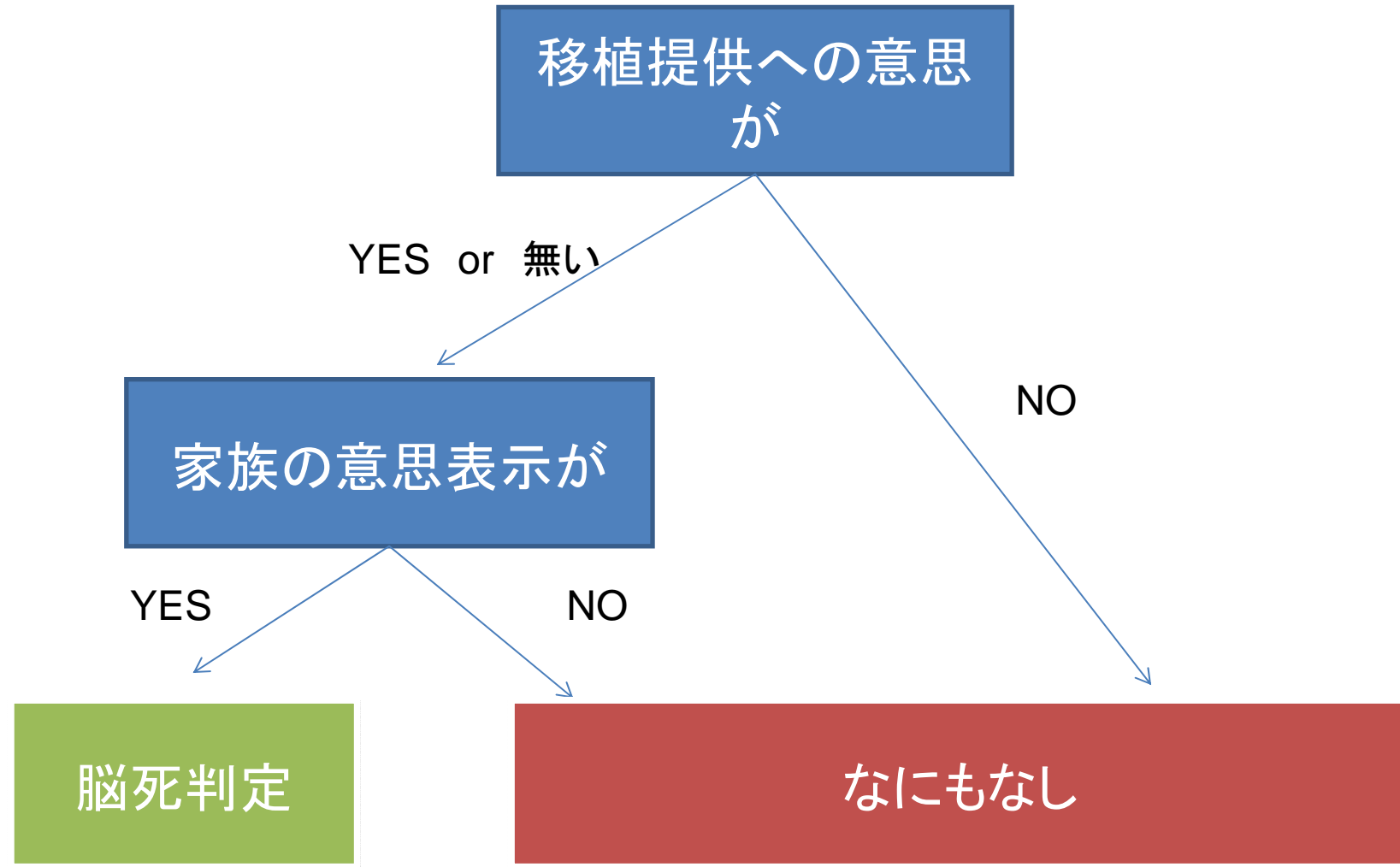
## 肯定側 立論

9班

# 現行案

- 15歳以上のみ
- 本人の提供の意思表示と、家族の同意

# A案



# その他A案の内容

- 年齢制限はない
- 親族への臓器の優先提供
- 免許証、保険証などをドナーカードの代わりに出来るように努力
- 虐待の疑いのある子供のドナーに関しては、厳重に調査する

# 肯定側

## レシピエントの 立場

- ドナー増加による移植機会の増加

## ドナーの立場

- ドナーの考えに最大限に答えられる
- 手軽なドナーカード

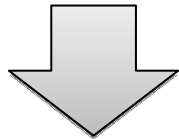
## WHOの改定指 針への対応

- 臓器移植の自給自足が可能

# レシピエントの立場

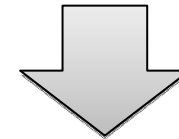
# レシピエントの現状

脳死判定及び臓器摘出には本人の**生前意思の書面による表示**が必須

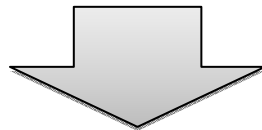


極めてドナーが少ない  
年間**心臓で400人、肝臓で2000人**が亡くなる

ドナーが**15歳未満**の場合  
臓器の提供が不可能



心臓や肺の移植でしか  
救命しえない重症患児は  
**移植が受けられない**



臓器移植が限定的な日本のレシピエントには厳しい現実

# A案の脳死臓器提供要件

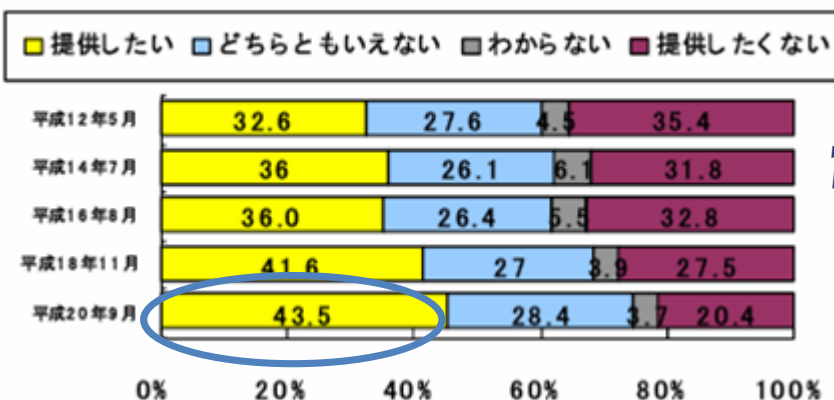
## A案の脳死臓器提供要件

- ◆ 死の定義を「心臓死」から「脳死」に拡大
- ◆ 脳死状態の人が臓器提供を生前に明確に拒否していなければ、家族の同意だけで、臓器摘出が可能
- ◆ ドナーの年齢は関係なく、本人の拒否がなければ、家族の同意のみで臓器摘出



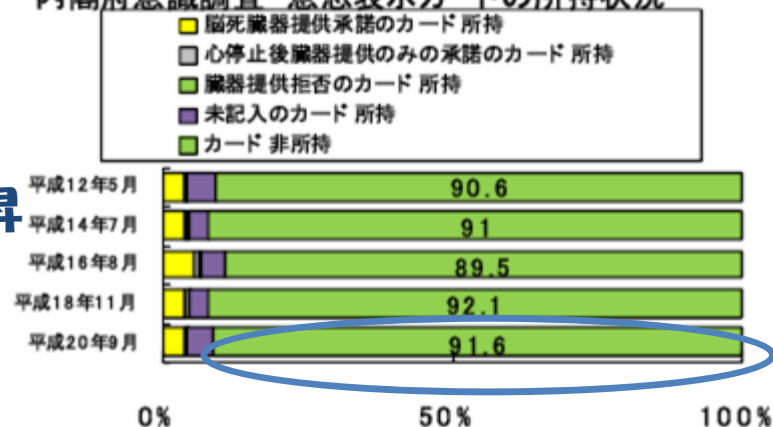
# A案によるレシピエントのメリット

内閣府意識調査 脳死臓器提供の意思



4割以上が提供の意思あり

内閣府意識調査 意思表示カードの所持状況



10%上昇

9割以上の方がカード非所持  
 カードの常時携帯者はカードの40%  
 ⇒提供承認カードの常時所持は1.6%

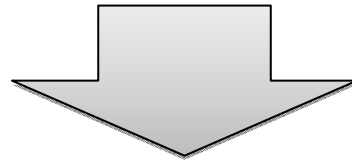
臓器流通数が増え臓器移植を望む人への門戸が開ける

出典: 内閣府 (<http://www8.cao.go.jp/survey/h18/h18-isyoku/1.html>)

# ドナーの立場

# ドナーの現状

国民の40%が脳死化臓器提供に同意しているが  
提供承認カードの常時所持は1.6%に過ぎない

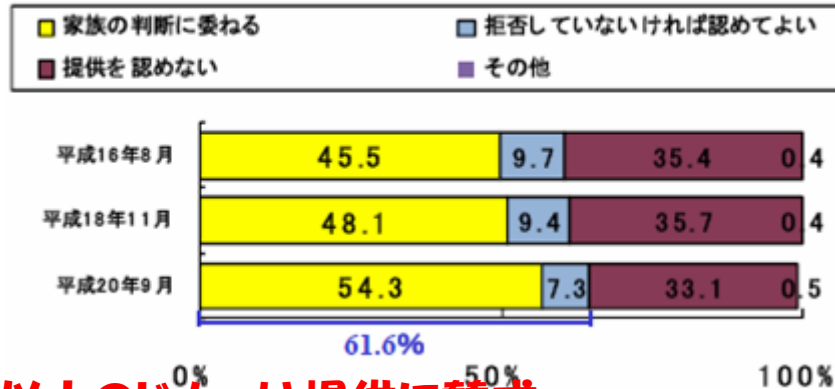


現状の制度がドナーの希望に答えられていない！！！！

# A案によるドナーのメリット

A案の脳死臓器提供要件  
||  
極的意思（拒否していない） 家族の同意

内閣府意識調査 本人の意思表示のない場合



6割以上のドナーは提供に賛成

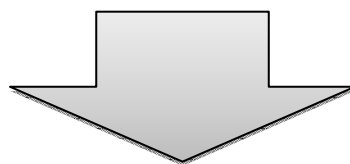


ドナーの えに 大限に答えられる

出典：内閣府 (<http://www8.cao.go.jp/survey/h18/h18-isyoku/1.html>)

# 免許証などによるドナーカードの代

法案には、提供の意思の 無を 免許証及び  
保険の 保険 証 に する とがで  
るように する が れている



ドナーカード所持 の増  
らに の意 をは り示 るように

**WHOの改定 への**

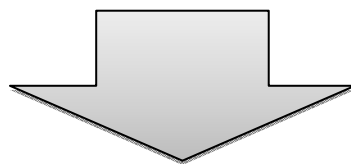
# 国内的な臓器移植の流れ

- シー (国 移植 2008.5.3)
  - 臓器 移植 (合法なもの) に
  - 死 (脳死 心 ) ドナーを 国で増やし、臓器移植を増やすように びかけると
- 臓器移植に関する の改正 定 (WHO )
  - に して受ける臓器移植の を める案の正 定

臓器移植の が められている

# A案のWHOの改定 への

A案は国内にける臓器移植を増る  
過 10年間で59 だ 脳死臓器提供が  
年間70 いが めれる(臓器移植 )



国内の臓器移植を増やすとで、 が  
可能になりWHOの にうとがでる



# 肯定側

## レシピエントの 立場

- ドナー増加による移植  
機会の増加

## ドナーの立場

- ドナーの考えに最大限  
に答えられる
- 手軽なドナーカード

## WHOの改定 指針への対応

- 臓器移植の自給自足  
が可能